

禁煙補助薬

Q：たばこが値上がりしたのを機会に禁煙をしようと思っています。禁煙補助薬があると聞いたのですが、どのようなものがあるのでしょうか。

A：市販されている商品では、ニコチンガムとニコチンパッチがあります。病院で処方される薬には同じくニコチンパッチと飲み薬があります。それぞれの特徴をふまえたうえで、患者の状態を考慮し選択します。

たばこには、ニコチンや一酸化炭素をはじめ約4,000種類の化学物質が含まれ、そのうち約200種類の有害物質が含まれます。

わが国では、3種類の禁煙補助薬（ニコチン製剤とバレニクリン）が使用可能です（表参照）。ニコチン製剤にはガムとパッチがあり、前者は一般用医薬品（OTC）、後者にはOTCと医療用医薬品があります。

禁煙したときのつらさは、ニコチン離脱症状によります。ニコチン製剤にはニコチンのみが含まれ、口腔粘膜や皮膚の接触面から徐々に吸収されて、禁煙時の離脱症状を軽減し禁煙を補助します。吸収されるニコチンの量も喫煙者が喫煙によって吸収するニコチンより通常少量であり、急速なニコチン濃度の上昇はみられず安全に使用できます。

バレニクリンは経口薬で、 $\alpha_4 \beta_2$ ニコチン受容体部分作動薬です。ニコチンより高い親和性で脳内のニコチン受容体に結合し、作動薬と拮抗薬という2つの特徴を発現します。受容体の一部を刺激し少量のドーパミンを放出させることで禁煙に伴う離脱症状を軽減し、同時に拮抗薬としてニコチンと受容体の結合を阻害するので再喫煙による満足感を抑制します。

それぞれの薬剤の特徴を踏まえたうえで、患者の状態を考慮し選択します。

【 参考資料 】

- (1) 日経DI 149号 2010
- (2) (社)日本呼吸器学会 禁煙ガイドライン2005年
- (3) 治療 Vol.92 No.7 2010
- (4) 今日の治療薬2010
- (5) medicina Vol.46 No.10 2009
- (6) 各添付文書

表1 禁煙補助薬の種類と特徴

2011年1月4日現在

	ニコチン製剤			バレニクリン酒石酸塩
	ニコチンガム	ニコチンパッチ		チャンピックス錠
区分	OTC・第2類	OTC・第1類	医療用 (健保等一部限定適用)	医療用 (健保等一部限定適用)
剤形／ 製剤写真	外用剤（ガム） 	外用剤（貼付剤） 		内用剤（錠剤） 
製品名／ メーカー	・ニコチネル フルーツ ・ニコチネル ミント (ノバルティスファーマ) ・ニコレット ・ニコレット・ミント ・ニコレットクールミント ・ニコレットフルーティミント (J&J)	・シガノン CQ1 ・シガノン CQ2 ・シガノン CQ1 透明パッチ ・シガノン CQ2 透明パッチ (GSK) ・ニコチネル パッチ 10 ・ニコチネル パッチ 20 (ノバルティスファーマ) ・ニコレット パッチ 1 ・ニコレット パッチ 2 ・ニコレット パッチ 3 (J&J)	・ニコチネル TTS10 ・ニコチネル TTS20 ・ニコチネル TTS30 (ノバルティスファーマ)	・チャンピックス錠 0.5mg ・チャンピックス錠 1mg (ファイザー)
成分／ 含量	・ニコチン 2mg	・シガノン CQ、透明パッチ CQ1：ニコチン 78mg CQ2：ニコチン 36mg ・ニコチネル パッチ 10：ニコチン 17.5mg パッチ 20：ニコチン 35mg ・ニコレット パッチ 1：ニコチン 24.9mg パッチ 2：ニコチン 16.6mg パッチ 3：ニコチン 8.3mg	・ニコチネル TTS 10：ニコチン 17.5mg 20：ニコチン 35mg 30：ニコチン 52.5mg	・バレニクリン塩酸塩 ：0.5mg ：1mg
用法・用 量／禁忌 ／警告／ 使用上の 注意	◎タバコを吸いたくなった時、 1. 1回1個を、ゆっくりかむ 2. ほほと歯ぐきの間に置く 3. 約30～60分で捨てる ・1～3を約30～60分間繰り返した後、ガムを捨てる ◎使用期間：3ヵ月	◎1日1回1枚起床時に貼付、就寝前にはがす ◎貼付場所は毎日変える ◎サウナ使用時、激しい運動時は使用しない <貼付期間> ・シガノン CQ・ニコチネルパッチ	◎1日1回1枚24時間貼付 ◎貼付部位は毎日変える ◎サウナの使用や激しい運動を行うときは、前もって除去	・1～3日目 1回0.5mg、1日1回 ・4～7日目 1回0.5mg、1日2回 ・8日目以降 1回1mg、1日2回 ◎投与期間：12週間

	◎使用開始時の個数の目安 禁煙前の喫煙本数:使用個数 ・20本以下:4～6個(1日) ・21～30本:6～9個(〃) ・31本以上:9～12個(〃) (1日最大使用個数:24個) ◎禁煙になれてきたら(1ヵ月前後)、1週間ごとに1日の使用個数を1～2個ずつ減らし、1日の使用個数が1～2個になった段階で使用をやめる	最初の6週間:CQ1、パッチ20 次の2週間:CQ2、パッチ10 ・ニコレットパッチ 最初の6週間:パッチ1 次の2週間:パッチ2 次の2週間:パッチ3 <使用期間> ・シガノンCQ、ニコチネルパッチ:8週間 ・ニコレットパッチ:10週間 <貼付場所> ・シガノンCQ:胸、背中、腕 ・ニコチネルパッチ:上腕部、腹部、腰背部 ・ニコレットパッチ:上腕部、腰周辺部	◎最初の4週間:TTS30 次の2週間:TTS20 最後の2週間:TTS10 ◎使用期間:10週間 <適応上の注意> ◎内袋を開封後は、1ヵ月以内に使用 ◎貼付部位:上腕部、腹部、腰背部	<警告> 抑うつ気分、不安、焦燥、興奮、行動又は思考の変化、精神障害、気分変動、攻撃的行動、敵意、自殺念慮及び自殺の報告あり。投与時は患者の状態を十分に観察 <重要な基本的注意> めまい、眠気のおそれ →自動車の運転等(こ)は注意
特徴・利点	▼タバコを吸うのを完全に止めて使用 ▼突然の喫煙欲求に対応可能 ▼ニコチン摂取量を調整できる(はさみで切って量を少なくする、噛み方を調整する等) ▼食欲抑制効果 ▼ニコチン補充と口寂しさを紛らわす事を同時に行える ▼効果発現までの時間がニコチンパッチに比べて短い	▼タバコを吸うのを止めてから使用 ▼ニコチンが確実に補給される(安定した血中濃度) ▼食欲抑制効果 ▼使用していても人からは分からない	▼禁煙開始日1週間前から内服 ▼喫煙しながら治療開始 ▼ニコチンを含まない ▼循環器患者に使用可 ▼喫煙による満足感減少	
主な副作用・欠点と対策	▼むかつき、のどの刺激 →唾液を飲み込まない様に →1/2に切って使用 ▼噛み方などの使用法に若干コツが必要であり、使用法によって効果に差があることがある(噛み方の指導が必要) →ニコチンパッチを使用する ▼ガムを噛めない人がある →なめるだけでも効果がある ▼口中が酸性の時、吸収が悪い →炭酸飲料、コーヒー、アルコール飲料などと併用しない	▼皮膚のかゆみ、かぶれが起こることがある →貼付場所を毎回変える →早め(こ)はずす →症状がひどい時は医師に相談する ▼不眠、夢 →夜(こ)はずすようにする ▼頭痛などニコチンが多すぎる症状がおこる時がある →1サイズ小さいものにする →セロテープをパッチの裏に貼り、パッチの接触面積を減少させる ▼突然の喫煙欲求に対応できない ▼汗をかく人(こ)は使いにくい	▼異常な夢、不眠症、頭痛、便秘、嘔気、鼓腸など ▼突然の喫煙欲求に対応できない ▼腎機能障害者では減量が必要	